

# 人民元週間レポート

2025年12月12日発行

みずほ銀行（中国）有限公司  
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗银行

# 【人民元為替概況】

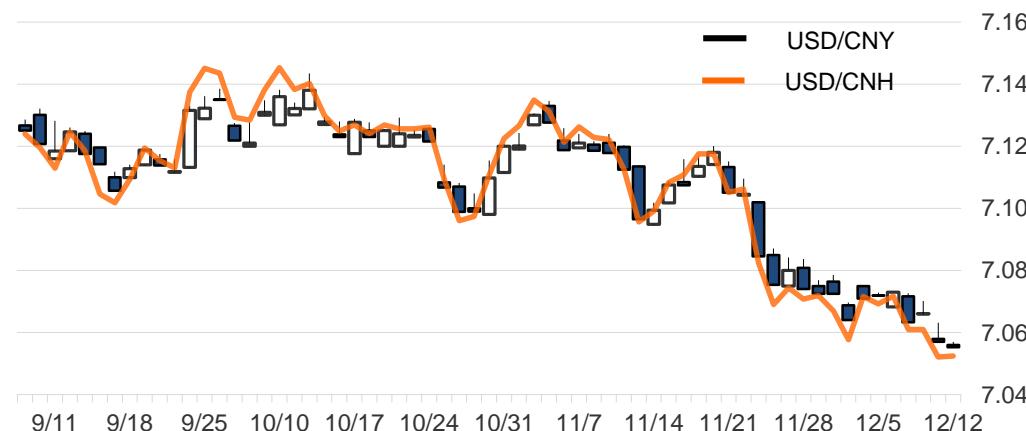
## 回顧: USDCNYは年初来元高水準を更新し7.05台まで下落

- ドル人民元(USDCNY)は8日、7.06台後半でオープン。中国11月貿易統計が発表され、市場予想・前回を上回る結果となったものの、人民元相場への影響は限定的。10日は米FOMC後に全般的なドル売り地合となる中、オフショア人民元(CNH)で元高が進み、7.06を下回り7.05台まで下落。オンショア人民元(CNY)はすでに海外時間クローズしていたため、翌11日にオフショア人民元(CNH)に追随する形で7.05台後半でオープン。PBOC基準値が年初来元高水準を更新したことなどもあり、USDCNYは7.05台半ばまで下落し、2024年10月以来の元高水準をつけた。12日11時現在、7.05台半ばで推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は8日、4.56近辺でオープン。米金利上昇を横目にドル円が上昇する展開にJPYCNYは4.53台まで下落。翌9日もドル円が継伸する展開にJPYCNYは節目となる4.50近辺まで下落した。10日は米FOMCにて大方の予想通り0.25%の利下げが発表され、続くパウエルFRB議長会見でも「米労働市場が一段と軟化するリスク」に触れるなど、総じてハト派と受け止められたことを受け、全般的にドル売り地合となる中、ドル円が下落。JPYCNYは4.52近辺まで上昇した。11日はドル円が155円近辺まで下落する中、JPYCNYは一時4.54台後半まで上昇した。12日11時現在、4.53台で推移している。

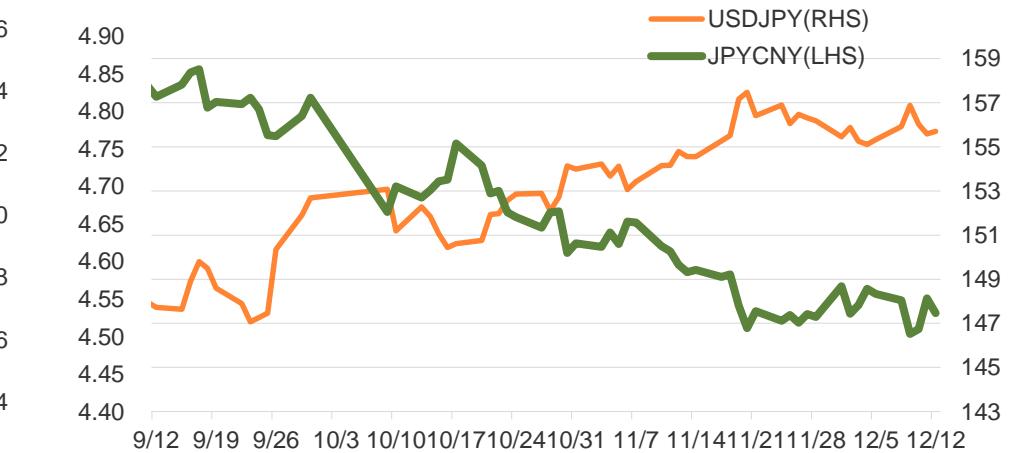
## 見通し: 来週は緩やかな元高トレンド継続を予想

- 今週FOMCを通過し次の材料探しとなる中、人民元相場は引き続き緩やかな元高トレンドを予想する。来週節目となる7.05を試す展開も想定され、同水準を下抜ける流れとなれば、元高進行のスピードが上がる可能性もあるため、値動きには留意したい。
- 来週の注目イベントとしては16日に米11月雇用統計が発表される。今後のFRBの利下げを予想する上で重要な指標となる。また18-19日には日銀金融政策決定会合が開催され、足元では9割以上の利上げが織り込まれている。会合後の植田日銀総裁の会見内容にも注目が集まる。中国からは15日に11月小売売上高、11月鉱工業生産、11月固定資産投資などの国内主要経済指標の発表が予定されている。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



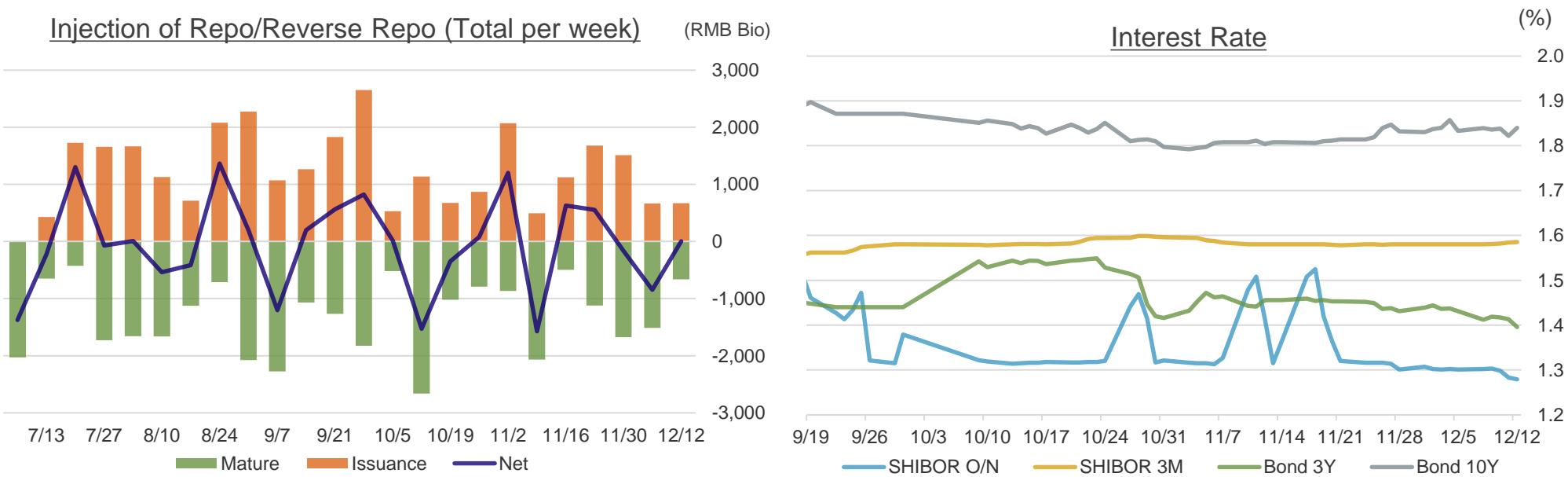
# 【人民元金利概況】

## 回顧: SHIBOR O/N金利は1.30%割れの水準まで低下

- PBOCは7日物リバースレポにより合計6,685億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで47億元の資金供給となった。
- 短期資金市場は引き続き潤沢な流動性が維持され、SHIBOR O/N金利は2023年8月以来初めて1.30%を下回る水準まで低下した。
- 債券市場は、全タームで利回り低下する動きとなり、2年債利回りは1.39%近辺、5年債利回りは1.60%近辺、10年債利回りは1.82%近辺まで低下した。

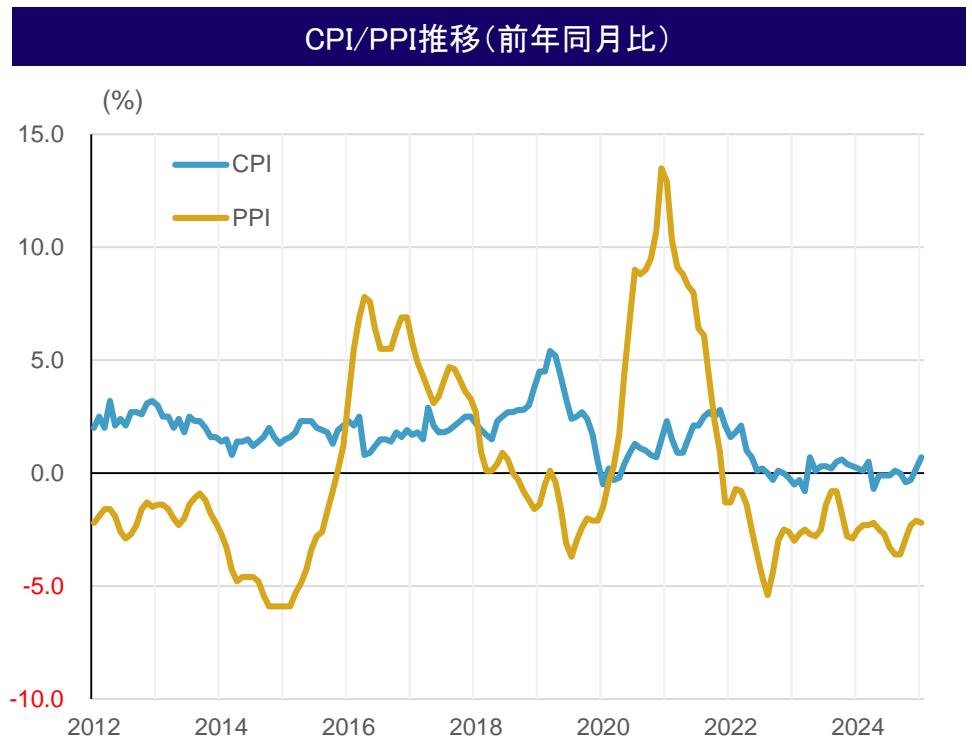
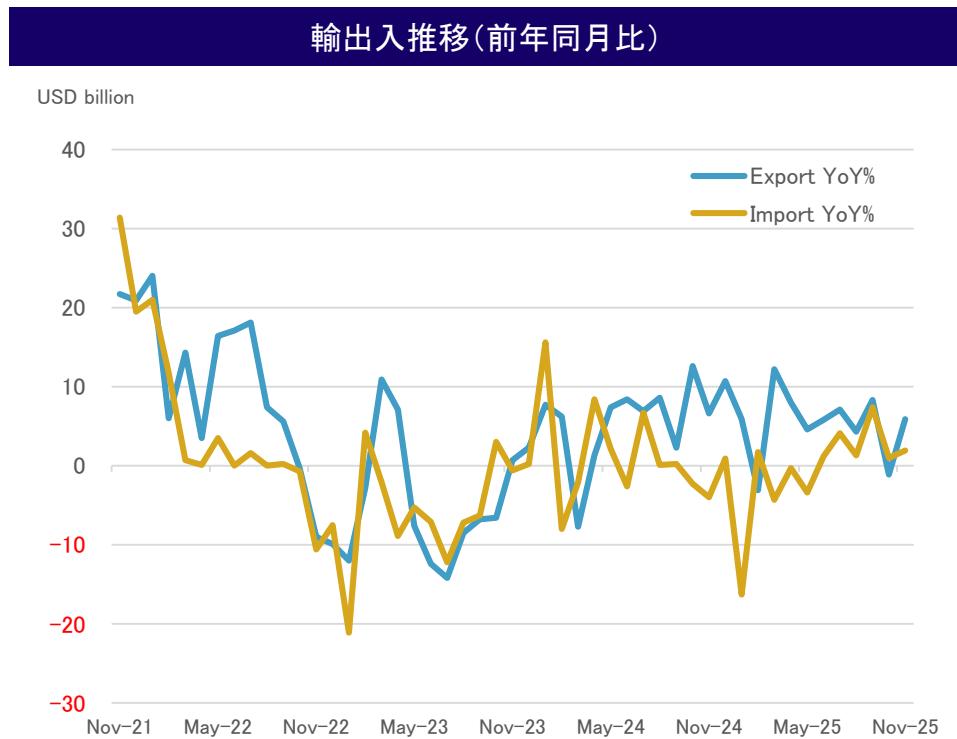
## 見通し: 来週は税期や年末跨ぎを意識した金利動向に警戒

- 短期資金市場は来週に税期を控えており、一時的に流動性がややタイト化する可能性もあるため留意して臨みたい。また年末に向けて資金ニーズが高まることになれば、特に年末跨ぎのタームなどで金利上昇圧力が強まる可能性もあるため警戒しておきたい。
- 12月11日に中央経済工作会议が開催され、「積極的な」財政政策を継続する方針、および銀行預金準備率・金利の引下げを含む柔軟な金融政策を展開することなどが示された。今後の債券市場に影響を及ぼす可能性もあるため、引き続き政策動向には注目していきたい。



# 【TOPICS】中国貿易統計・物価統計が公表

- 12月8日、中国税関総署は11月貿易統計を公表し、輸出(ドルベース)は前年同月比+5.9%(予想:+4.0%、前回:▲1.1%)の3,303.5億ドル、輸入は同+1.9%(予想:+3.0%、前回:+1.0%)の2,186.8億ドルとなった。輸出は前回こそ前月比マイナスとなったものの2か月振りにプラスとなり、市場予想を上回る強い結果となった。また貿易収支は1,116.8億ドルの黒字(前回:900.7億ドルの黒字)となった。
- 地域別で見ると、対米輸出は前年比▲28.5%と引き続き下落率が大きく、その他の地域を見ていくとASEAN向けは同+8.4%、EU向けは同+14.9%、日本向けは同+4.5%となっており、特にEU・日本向けの持ち直しが寄与して全体としてもプラス圏を回復した格好。輸出増加に伴う貿易黒字拡大が続けば実需面におけるUSDCNYの元高要因となるため、引き続き動向には注目しておきたい。
- 12月10日、国家統計局は11月CPIおよびPPIを公表した。CPIは前年比+0.7%(予想:+0.7%、前回:+0.2%)、PPIは同▲2.2%(予想:▲2.0%、前回:▲2.1%)となった。また、食品価格は同+0.2%(前回:▲2.9%)、食品とエネルギーを除くコアインフレ率は同+1.2%(前回:+1.2%)となった。
- CPIは2024年2月以来の伸び率を示し、前回に続き持ち直す結果となったものの、食品とエネルギー価格を除くコアインフレ率が前回と同水準だったことやPPIは市場予想・前回対比それぞれ下回ったことを踏まえると、基調的な物価上昇につながるかどうかは今後の見極めが必要。



# 【マーケットデータ】

## 【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
12/8	7.0683	7.0730	7.0670	7.0713	7.0764
12/9	7.0717	7.0725	7.0632	7.0693	7.0773
12/10	7.0660	7.0700	7.0605	7.0638	7.0753
12/11	7.0580	7.0630	7.0550	7.0580	7.0686
12/12	7.0560	7.0570	7.0542	7.0554	7.0638

## 【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.0683	7.0730	7.0542	7.0554
100JPY/CNY	4.5602	4.5635	4.5032	4.5268
EUR/CNY	8.2342	8.2944	8.2090	8.2802
HKD/CNY	0.90800	0.90909	0.90627	0.90635
GBP/CNY	9.4291	9.4519	9.3971	9.4394

## 【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
12/8	7.0694	7.0729	7.0647	7.0717	7.0680
12/9	7.0717	7.0721	7.0600	7.0610	7.0685
12/10	7.0610	7.0709	7.0576	7.0610	7.0607
12/11	7.0610	7.0650	7.0480	7.0522	7.0596
12/12	7.0521	7.0554	7.0501	7.0526	7.0528

\*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

## 【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	155.31	156.95	154.90	155.59
EUR/USD	1.1642	1.1763	1.1615	1.1738
EUR/JPY	180.76	182.94	180.50	182.65
GBP/USD	1.3325	1.3438	1.3288	1.3388
AUD/USD	0.6632	0.6686	0.6609	0.6664

## 【SHIBOR FIXING(%)】

	12/8	LOW	HIGH	12/12
ON	1.3020	1.2790	~	1.3030
1M	1.5210	1.5210	~	1.5250
3M	1.5800	1.5800	~	1.5850
6M	1.6200	1.6200	~	1.6240
1Y	1.6500	1.6500	~	1.6510

(Bloomberg)

## ご留意事項

### ・本資料に関するご照会先

- ・当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ・ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- ・投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。
- ・また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- ・本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではございません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム  
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)



瑞穂银行